

平成25年度東日本地域技術職員研修（機械系）

技術第1班 佐藤 大輔

1. 目的

高等専門学校技術職員（学科、教室、教育研究センター、実習工場及び練習船等における教育・研究の技術支援等に従事する職員）に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を修得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

独立行政法人国立高等専門学校

3. 担当校

旭川工業高等専門学校

4. 期間

平成25年8月20日(火)～8月22日(木)

5. 会場

長岡技術科学大学

6. 研修内容

技術能力の向上及び創造的能力の育成及び技術職員が研究開発した技術等の発表

7. 受講資格

受講要件 次の各号の一に該当する者

- (1) 科学研究補助金又はこれに類する各種の研究助成金等の交付申請を行った者
- (2) 学会誌、研究紀要、公表された研究成果報告書及びその他の出版物に研究論文・技術報告の発表を行った者
- (3) 前各号に準ずる者で、所属校の校長が特に推薦するもの
- (4) その他、理事長が特に参加を認めた者

8. 対象校

東日本地域高等専門学校

9. 日程・研修内容等

一日目

講義1『極地氷床堀削』70分

長岡技術科学大学 東 信彦 教授

講義2『高硬度材料の放電加工技術』70分

長岡技術科学大学 福澤 康 教授

講義3『ちょっと変わったものづくりを、

容易・安価・迅速に行う方法』70分

長岡技術科学大学 田辺 郁男 教授

講義4『精密機械計測の基礎』70分

長岡技術科学大学 明田川 正人 教授

研究発表

発表10分 質疑応答3分

二日目

研究発表

発表10分 質疑応答3分

三日目

施設見学 120分

研修総評 60分

長岡技術科学大学 柳 和久 教授

旭川工業高等専門学校 後藤 孝行教授

10. 研修会に参加して

一日目の講義で新たな技術を知ることができ、また計測の基礎などの講義を受け測定の基礎を再認識できたので良かったです。

また研修発表では他高専のいろいろな取り組みや改善を知ることができ、本校でもこれからいろいろ試したいと思う。